

女性技術者を応援する「チーム・技魔女」

長期的な視点で、柔軟にキャリアを考えよう

専門的なスキルを身に着け、技術者として長期的にキャリアを形成したいと考えているものの、周囲にロールモデルとなる先輩社員を見つけれず、悩んでいる女性社員は少なくありません。そんな女性技術系専門職が交流の機会を設け、キャリアデザインの応援に取り組んでいるのが『チーム・技魔女（ぎまじよ）』です。

株式会社日立建設設計で一級建築士、技術士として第一線で活躍しながら、「チーム・技魔女」を結成して女性技術者のキャリアを応援している千木良美由紀さんに、理系女子へのメッセージをもらいました。

「チーム・技魔女」の活動内容を教えてください

「チーム・技魔女」は、技術系の女性が集まって交流し、若手女性技術者のキャリア形成を支援しています。会社や部門の枠を超えて社内向けだけでなく、社外の女性技術者を巻き込んだセミナーを開催したり、女子学生の進路イベントに参加したりするなど、いろいろな形で女性の働き方の情報を発信しています。

メンバーは日立グループ社員とOOGで、技術士資格を有している女性です。専門は建設、情報工学、機械、生物工

学、環境、経営工学、原子力と多岐にわたり、所属会社や勤務地、役職は様々、年代も20代から60代に及びます。2013年の結成当初は6名でしたが、現在は12名にまで増えました。

「社会で活躍している女性」というと、男性以上に仕事の成果を出して家事も完璧にこなしているスーパーウーマンを取り上げるケースも少なくないですが、「チーム・技魔女」は普通のお姉さん、おばさん達の集まりです（笑）。そんな普通の女性でも、やり方次第で技術者として長期的なキャリアデザインを描けることを発信していきたいですね。

女性技術者のキャリアにおいて特に課題と考えられていることは何でしょうか

女性は入社数年目に大きな壁があると感じています。最近は様々な会社・部門で女性を積極的に採用していますが、実際に働き始めると、技術系分野では身近に女性がほとんどいないというケースもまだまだ珍しくありません。事業所や部門で女性一人、「頑張っって何年か仕事をしてきたけれど、これからどうすればいいのかわからない」と悩み込み、退職してしまうケースが少なくないんです。これは本当に残念で、もっ



千木良美由紀（ちぎら・みゆき）

株式会社日立建設設計
営業本部 担当部長
技術士（総合技術監理部門／建設部門）、一級建築士、
一級造園施工管理技士（ほか）
環境共生建築をテーマに自然環境と向き合い、美しいデザイン性と機能性にこだわった建築企画やランドスケープデザインを手掛ける。
「チーム・技魔女」001号。

たいない。仕事をしていると勿論辛い時期はあるけれど、長くやっているとその分いいこともありますし、後から振り返ってみれば当時の悩みは些細なことだった、ということもあります。「彼女らの想いに寄り添い、話を聞いてアドバイスできる人がいれば」と思ったことがこの活動に取り組んでいる一つのモチベーションでもあります。

女性が会社を選ぶ際に注意すべきことを聞かせてください

最近では出産や育児の支援制度が充実している企業が増えていますが、制度

2013年度

日立技術士会賞A賞
(社会貢献カテゴリー)受賞
表彰後の懇親会での挨拶、
中央は技魔女003号



2014年度

女子中高生「夏の学校」
電子工作教室を実施
同じ色のシャツの生徒さんと記念に一枚
技魔女001号と002号



女子中高生「夏の学校」
理系のお仕事の相談会
20歳代が一番若い技魔女
012号が説明

チーム・技魔女メンバーからのメッセージ

20歳代

就職活動はチャンスです。今までの専攻を続けていくことも、全く異なる世界に進むことも可能です。がんばってください!

——大西紗矢佳さん
株式会社日立製作所 社会制御システム設計部
企画員

30歳代

光陰矢の如し。社会生活にも慣れ、気力・体力ともに充実してくる30代を大事に過ごしてください。——西村丹子さん

日立GEニュークリア・エナジー株式会社
原子力エンジニアリング・調達本部 原子力計画部
原子炉計画グループ 技師

40歳代

「不惑の40」は人生も仕事も折り返し地点。素敵な40代になれるような経験をたくさん積んで下さい。——中田よしみさん

株式会社日立プラントストラクチャー
放射線管理部 技師

50歳代

興味ある分野を広げ、一緒に仕事をしたい仲間を増やし、そこで自分の出せる力を提案できる専門家になりたい。——久田明子さん

株式会社日立製作所 研究開発グループ
テクノロジーイノベーション統括本部 ヘルスケア
イノベーションセンター バイオシステム研究部
ヘルB3ユニット 主任研究員

さえあればいいというわけではありませぬ。本当に大事なのは、一緒に働く同僚や上司たちとの人間関係だと私は感じています。私が出産した際は、いまと比べると制度は十分ではなかったのですが、直属上司の判断で柔軟に対応していただき、非常に助けられました。各種制度をしっかり活用できる企業風土や、事情を理解してサポートしてくれるような上司や仲間がいる環境を選ぶことが大切です。ただし、助けてもらえるのが当たり前だと思わず、

自分も仲間の役に立つよう努力することを忘れずにいてください。

長期的なキャリアを築いていく上で意識すべきことはありますか

私は仕事に必要な資格を10種類ぐらいい取得しましたが、一度に合格できたわけではなく、地道に3年間働いてきたら増えていた、という感じです。平均すると3年に一つなので、がむしゃらに勉強し続けているというわけでも

ありません。あまり外出できない妊娠期間中は資格の勉強時間に充てるなど、その時にできること、やるべきことを考えて取り組んできました。また、育児中は子供のお迎えなどがあるため周囲と同じ働き方は難しいと感じ、自分一人で取り組める仕事を開拓するといった工夫をしました。30〜40年と働くことを考えると、出産育児で大変なのは4分の1くらい期間。そこで仕事も家庭も完璧にしようと張りずらぬ、長い目で見て、柔軟に考え

てもいいのではないのでしょうか。ひとつ言えることは、「周囲と同じじゃないといけない」といった固定観念は持たないこと。やりたいことがあるなら、他人と違ってやっちゃったほうがいい。周りと違うから、という理由でやめてしまうのはもったいない。それに、世の中をよく見渡してみると、意外と前例やノウハウがあったりもします。「女性だから」とか、「前例がないから」といって諦めないで、是非やりたいことに挑戦してください!